



たんけん通信

おもしろ科学たんけん工房

76号

特定非営利活動法人
おもしろ科学たんけん工房
季刊：4月、7月、10月
1月の 各1日発行

2020年度(第19期)

通常総会開催__Zoom併用で

2021年(月)5月31日 開催

書面表決とZoomによるOn-Line参加を併用
大多数の会員には、議決権行使書及び委任状による表決(=出席)をお願いし、総会の実務を引き受けるメンバーと役員に選任される候補者だけに限定してZoomに参加してもらう方式で、開催されました。

コロナ禍で大きな収入減になりましたが、おかげさまで持続化給付金や、助成金を受けることができたので、財政的には不安のない1年でした。しかし、子どもたちが参加できる機会は80%減という悲しい状況でした。詳しくは5~8ページをご覧ください。

おもしろ科学たんけん工房は来春20周年を迎えます。

総会議案

- ◆報告事項 2020年度事業報告
- ◆審議事項
 - 第1号議案 2020年度事業報告書承認の件
 - 第2号議案 2020年度決算(活動計算書、貸借対照表、財産目録)承認の件
 - 第3号議案 2021年度事業計画承認の件
 - 第4号議案 2021年度活動予算承認の件
 - 第5号議案 理事29名選任の件
 - 第6号議案 監事2名選任の件
 - 第7号議案 20周年記念プロジェクト立ちあげの件

(いずれも異議なく賛成多数で承認されました)

21年度 養成研修がスタート

藤沢:7月4日(日);横浜・前期 7月11日(日)

ここから3ページまでは 5地区からの様々なお便りです。
トピックス・予定の告知・報告・記録・提言 いろいろ。

★各地区だより★

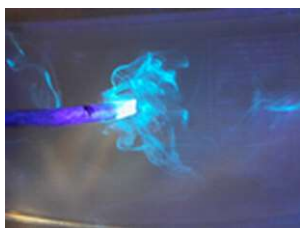
木の持つ不思議な力



宮坂 幸子

北1地区

〈1〉水につけた木の枝



〈2〉枝で紙に描いた絵



自粛生活中的の私の楽しみは、近所の公園巡りです。特に池のある公園が面白いです。水辺に生きる植物や、水鳥たちの子育ての様子も観察できるからです。

先日、樹木医の岩谷美苗先生に、木を使った面白い遊びや実験を教わりましたので、定例会で皆様に紹介しました。

〈アオダモの木で蛍光ペン〉

「アオダモ」の木というと、「イチローのバット」を思い出します。しなやかなのに強靱、弾力性に優れ、しかも軽いという特徴があります。

まず、暗い部屋の中で行います。水の入った透明なコップを用意します。コップの横からUVライトを照らしておき、コップの中にアオダモの枝をいれます。すると枝先から青い蛍光色の樹液が出ているのが見えます〈1〉。コピー用紙などに、水を少しつけたこの枝で、絵や文字を書きます。この時書いたものは見えません。UVライトでこの紙を照らすと、書いたものが浮かび上がって見えます〈2〉。

因みに、この樹液の蛍光物の正体は、クマリンです。クマリンは天然の香り成分の一つです。皆さん、桜餅は好きですか? クマリンは桜餅の桜の葉の香りです。この実験は、トチノキでもできます。採りたての枝の方が樹液もたっぷりです。他にも蛍光物質を持つ木は色々あるのですが、量が少ないためペンには向きません。

〈1〉水につけた木の枝



〈2〉枝で紙に描いた絵



新テーマ「つかめる水であそぼう」がスタート

北2地区だより

最近、海へ行きましたか？ 遠出はできない状況ですが、江ノ島へ行ったときには是非、海岸（砂浜）へ行ってみてください。子どもの頃、綺麗な砂浜で貝殻や海草を拾った記憶がありますが、悲しいことに、今はマイクロプラスチックごみがたくさん落ちているのです。プラスチックごみ問題についてもっと知ってほしい、という想いをこのテーマにこめました。



4月25日（土）、第1回目の体験塾「つかめる水であそぼう」が実施されました。内容は大きく分けて3つ。

1. プラごみ問題とのつながり

ロンドンの大学院生3人組が、世界中にあふれるペットボトルをみて何とかしたいと考案したのが、この「つかめる水」のもとになった「持ち運べる水（Ooho）」。プラごみ問題について考え、未来を心配した若者たちの挑戦を紹介します。

2. どうして水がつかめるの？

材料やしくみについて、ミクロの世界をイメージしながら学び、化学の不思議に興味をもってもらうことを期待します。

3. 作ってあそぼう

「楽しさ」、「遊び」は大事なポイント。「つかめる水」を作って触って体感したら、あとは自由に遊びます（色づけ、ビーズ入れ、人エイクラ作り）。



今や待ったなしの環境問題。子どもたちが大きくなったとき、心配のない世の中であってほしいですが、このままでは今の生活を維持できなくなる、と科学者たちは警鐘を鳴らしています。現状を変えるには、若い人たちが行動を起こすことが必要なのではないかと思います。（北2 藤巻）



各地区からの便り：

5地区からの様々なお寄せです。実施報告やイベント告知、本やテレビ番組紹介。トピックス・記録・提言 いろいろです。

西地区だより

各会場とも募集定員を大幅に超えての応募で、新年度の体験塾がスタート
開催月日 開催場所 参加者/応募者

4/10 踊場地区C 16/40

ジブ（三角帆）の取り付けに使用する「糸」の扱いに手こずるも、アシスタントのサポートを得て、セール等の調整も含めて、全員何とかヨットを風上に向かって走らせることが出来た。体験塾を経験し、巧みなロープワークで自由にヨットを洋上で快走させる児童が将来出てくるかも……。



4/17 永野小 16/24

空気に重さがあること、マグデブルグの半球実験で（空気圧の力が）思い切り力を出してもはがれないほど強いことなど、ビックリ体験した。ストローロケットでは、標的狙いで飛ばし方にいろんな工夫を楽しんだ。



4/24 戸塚地区C 16/19

永久磁石で学んだ、「異極は引き合い、同極は退け合う」と、電流がコイルに流れて発生する磁力を反発力を利用してジャンピングアニマルを高く跳ばす工作をした。



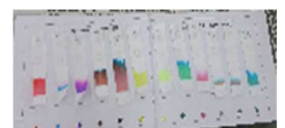
5/15&16 永野小 23/25

紫キャベツ液（煮汁）に重曹液とクエン酸液を含めて、身近にある色んな洗剤溶液を加え、色の変化と違いを楽しんだ。酸・アルカリ性の名称は聞いたことがある程度なので、詳細には触れなかった。身近にある食べ物に、TBT溶液を垂らして、アルカリ性・酸性で色変化の違いを調べる実験で、ラムネ菓子に含まれる重曹粒に気付いた観察眼の児童もいた。



5/29 & 6/2 戸塚地区C 28/31

①ペーパークロマトの原理でカラー水性ペンの色を分離する「色さがし」。②絵具を混ぜて狙った色を作り出す「色の合成」。③アルギン酸Na液に絵具を溶き、塩化Ca液に滴下して「にじいろの涙」。盛りだくさんの内容を時間短縮で、2回の開催、……。



「親子で楽しむプログラミング(Scratch)超入門」のトライアル実施報告(藤沢)

75号で報告したトライアルを、3/13、20、27に各2H(合計約6H)実施したので概要を報告する。

参加者は計18名(生徒役の工房会員12名+講師側6名)で、生徒役の会員の約半数はScratchの全くの初心者であった。意欲的/積極的に参加頂き、13名からアンケートの回答を得た。多くのコメントを頂き、大変有意義なトライアルであった。

今回のトライアル結果を基に内容を見直し、早期にOn line型プログラミング超入門を実現させたい。

< トライアル概要 >

1) 体験塾の進め方

各自のPC1台に、Zoom操作とScratchの二つのウインドウを表示して、全員で一緒に作品づくりを実施。

尚、資料は、テーマ毎に作成、事前に配布。講義内容は録画/編集して、翌日配布。

2) 実施内容(講師側は全員でテーマ毎に役割分担)

- ①オンライン体験塾の概要と進め方
- ②プログラミング/Scratchの概要
- ③はじめてのScratch操作(猫の散歩)
- ④テーマ毎の実習
 - ・楽器を鳴らそう
 - ・アナログ時計
 - ・正三角形
 - ・レーシングカー
 - ・ペンギンゲーム
 - ・魚とサメ

3) 参加者コメント(要約)

- ・初心者の児童には、内容が全体的に少し難しい。
- ・1台のPCで、講義を聴きながら、Zoom/Scratchのマルチ操作での作品づくりは難しい。
- ・相互のコミュニケーション(参加者の理解度を把握し即応する)が難しい。
- ・参加者の個人差を遠隔でどう補完・サポートするか?
- ・講義の録画・編集が非常に役立った。
- ・予習・復習が必要か……?

4) 総評(5点法評価)

(数字;人数)

評価項目	1(悪い)	2	3(普通)	4	5(良い)
①内容は魅力的でしたか?					6
②レベルは難しかったですか?			1	2	3
③説明のペースは如何でしたか?		1	2	3	
④講師の教え方/説明の仕方いかがでしたか?			1	3	2
⑤総時間の長さはどうでしたか?(1短ー5長い)	1	3	3		
⑥事前打合せ(Zoomと画面の使い方等)					有効5

資料と録画を有効に活用すれば、今回の課題は克服できるだけでなく、対面型にも有効と考えている。今後、早々にS-PJメンバーと検討したい。

以上(藤沢 G 加藤)



各地区からの便り:

5地区からの様々なお寄せです。実施報告やイベント告知、本やテレビ番組紹介、トピックス・記録・提言 いろいろです。

東地区だより 杉山逸子

杉田小学校では、永年、『まちとのつながり・人とのつながり』を大切にされた教育活動を行ってきております。その代表的な活動として、以前は「カルチャー」、「わくわく杉田ワールド」がありました。令和2年度からは形を変え、「わくわくクラブ」、「わくわくクラブ発表会」として子どもたちが楽しく活動しています。

その中で、「おもしろ科学たんけん工房」(以下:おもしろ科学さん)には、20年以上にわたってお世話になっております。

最近のわくわくクラブでは、通常は3人の講師の方で、また、発表会の時は、さらに多くの人数で、ご指導いただき、テーマも毎年かわり、「水」「音」「葉っぱ」「空気」など、子どもの身近な環境や素材で楽しませていただきます。



2016年のワクワク杉田ワールド発表会

おもしろ科学体験塾の会場を、長年にわたって提供していただいている、杉田小学校の校長の若色昌孝先生より、ご寄稿いただきました。

だから、毎年、おもしろ科学さんのクラブに属することを希望する子どもたちが多くいます。子どもたちからは、「おもしろい!」「不思議! だから楽しい!」「来年も入りたい!」という声が上がります。

おもしろ科学さん、今後とも本校の子どもたちを、楽しい科学の世界にいざなってください。よろしく願いいたします。



★ スタッフ プロフィール ★

入会されて1~2年経過された皆様のプロフィールを紹介しています。今回は登録が2019年4月以降の方のうち4名です。

- Q1 生まれたところ、今住んでいるところと、ごく簡単な略歴等を差し支えない範囲でお書きください
 Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと動機。
 Q3 たんけん工房に入って良かったことは何ですか？ これからやってみたいことはどんなことですか？
 Q4 趣味や他に活動していることはどんなことですか？
 Q5 その他付け加えたいことがあればご自由に一言。

《アンケート項目》

横浜西 Gp 笠井 真理子



A1: 東京生まれ、埼玉育ちで、就職して神奈川にきました。今は戸塚に住んでいます。

A2: 大学卒業後、企業に就職しましたが、いつかは理科の面白さを伝える事がしたいと長い間思っていました。そろそろ、そういう活動にシフトしたいと思っていたところ、タウンニュースでスタッフ体験講座を見つけ、入会しました。

A3: たんけん工房に入ってよかったことは、子供達と一緒にわくわく感を体験できることです。磁石の同極が反発し合うことは知識としては覚えています。ふわふわ感は久しぶりでした。

A4: 好きなことは、旅行、テニス、美術館めぐりなどです。今は、出かけられなくなったので、今まであまり気にしていなかった自宅の周りの植物の成長や夜空を楽しんでいます。

A5: バーチャルな世界が増えていますが、子供達には、リアルな世界で、自然現象、化学現象、物理現象を五感で感じて欲しいと思います。たんけん工房での経験が科学への興味に限らず現象を表現するアートの世界など他の世界にも広がったらよいなと思っています。



横浜北 2Gp 村上 春美

A1: 生まれは神奈川県川崎市です。現在は横浜市の真ん中に位置する保土ヶ谷区に住んでいます。

A2: 今の子供たちの理科離れが進んでいるというニュースを聞いて、何か良い方法はないかと思っていました。そんな時にタウンニュースに小さなうちから科学に親しんで、面白さを一緒に楽しもうという記事が載っているを見つけました。私にも面白さを一緒に楽しめるお手伝いが出来るのではないかと思い、応募しました。

A3: 私自身も慣れていないので伝えることは難しいですが、子ども達の真剣な表情やキラキラした目の輝きを見ているとやりがいを感じます。子ども達と一緒に実験や工作を行いながら、実は自分も楽しんでいることに気づきました。

A4: 趣味はスポーツ観戦です。横浜 DeNA ベイスターズの会員になっており、ハマスタに応援に行っています。自治会で、配食活動を25年間行っています。



藤沢 Gp 小田 保範

A1: 北海道栗沢町(現岩見沢市)生まれ22年間在住、戸塚区に14年間その後藤沢市へ。卒論はネジで仕事は弱電アナログ回路設計を17年間、退職までは事務系でした。

A2: 「公報ふじさわ」で募集を見つけ養成講座に参加し、引きこもり防止と地域活動(貢献)が出来たら良いなと思い入会しました。

A3: 理科の原理、工作方法や人との接し方などについて考える機会が出来たことです。また沢山の方と話したり乗り物に乗る機会が増えたことです。

A4: 趣味ではありませんが、ベランダでトマトを育てています。うどんこ病になったり強風でへし折られたりと順調に育ったことは殆どありません。今年も挑戦中です。柑橘も鉢植えており実は着きませんが昨年はアゲハ蝶が羽化しました。

A5: 私が出来そうな範囲で参加しますのでご指導をお願い致します。



横浜西 Gp 大橋 利栄

A1: 横浜生まれ、現在は戸塚区に住んでいます。

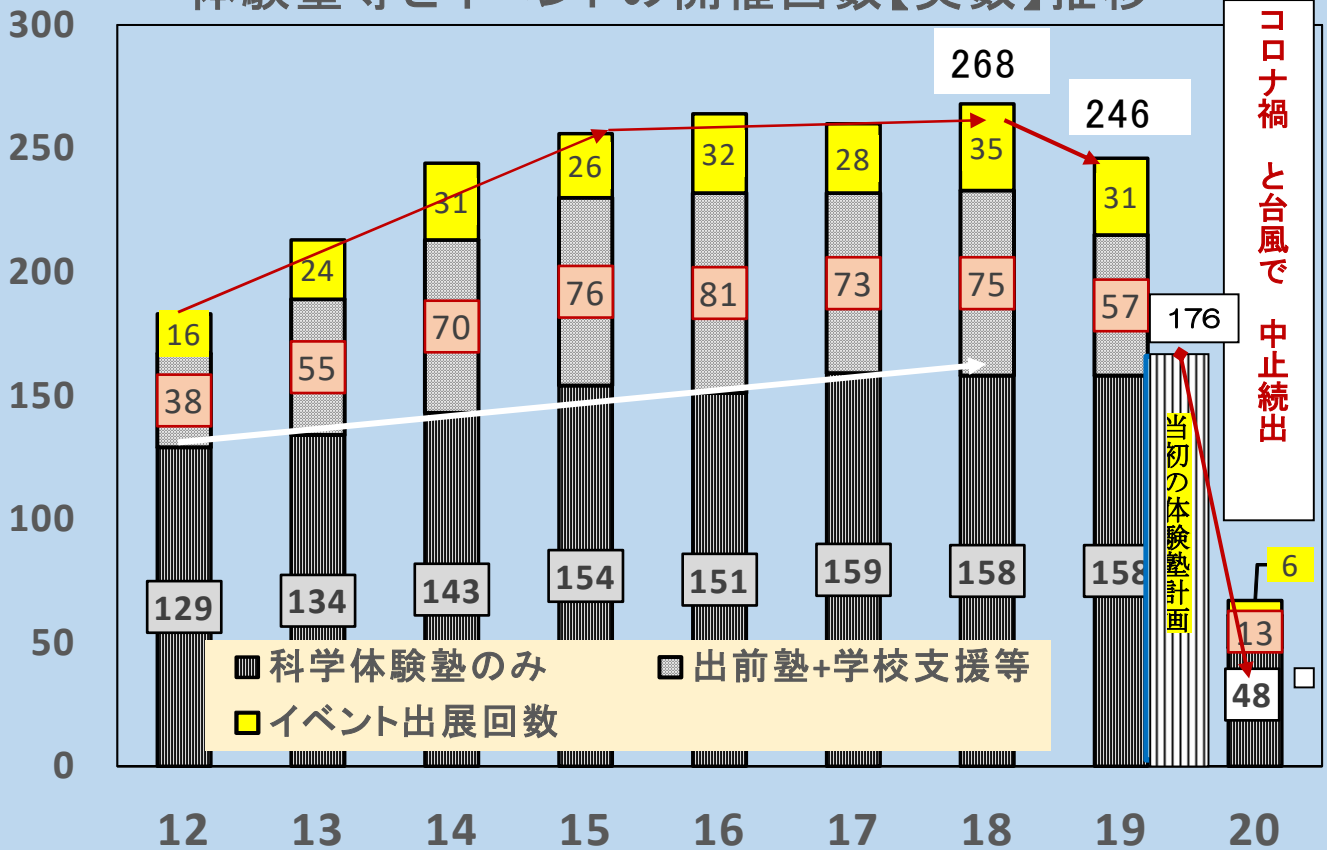
A2: 理科支援員になり、自分自身も楽しく学び、知識を身につけたいと入会しました。

A3: 工夫を凝らした工作も、わかりやすい基本のお話も、たくさん子どもたちに体験してほしいです。

A4: 読書、映画、落語、旅行、トレッキング(活動)昔話の語りと読み聞かせを、図書館、小学校、保育園、学童でしています。

2020年度総会での事業報告抜粋・要約(P5~P7)

体験塾等とイベントの開催回数【実数】推移



2020年度科学体験塾 176回を計画したが台風と新型コロナで128回も中止になり、結果 48回 実施で終わった。

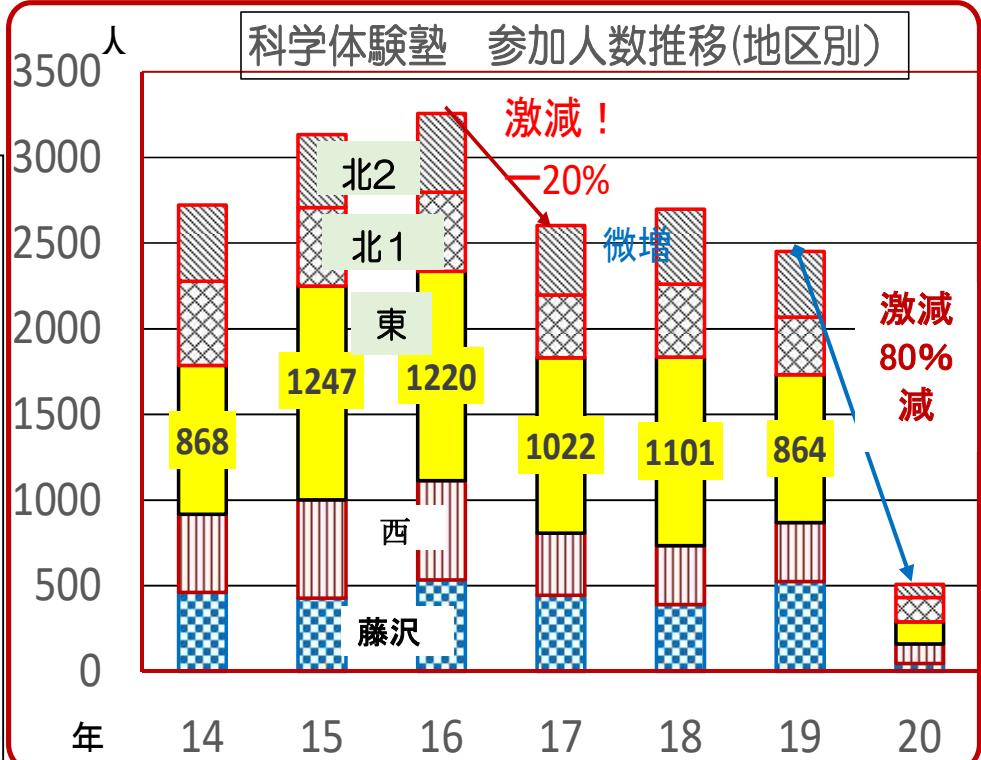
1回当たり 体験塾参加者は2003年以来減少傾向

自前の科学体験塾の応募者・参加者が激減しつつあります。

2016年度まで、順調に伸び続けた、おもしろ科学体験塾への参加者が2017年度は各地区平均で20%も減少しました。(右のグラフ) 明確な原因はまだ掴めていません。人口減だけでは説明できません。児童や保護者の志向の変化がありそうです。

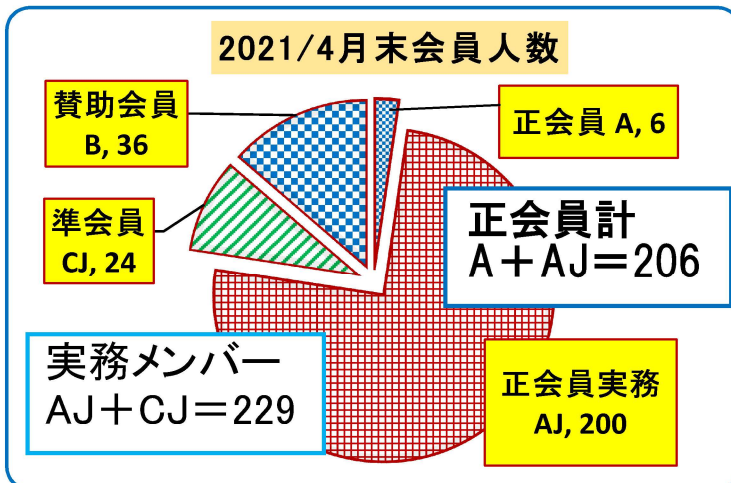
18年度は前年比4%の微増で持ち直し傾向にありましたが、19年度は再び9%の減少となりました。

20年度はコロナ禍の影響で-80%という大幅な減少となりました。どう回復するか? 大きな課題が控えています。



2021/4月末 在籍会員の登録種別人数構成 2020年度末ではありません

登録種別	記号	人数
正会員	A	6
正会員実務	AJ	200
準会員	CJ	24
賛助会員	B	36
在籍合計		266



スタッフ養成研修の状況 横浜地区では前期研修は中止、後期のみ1回実施

コロナ禍で研修も縮小

横浜地区では、夏～冬にかけて2回のスタッフ養成研修を実施する計画でしたが、前期については募集広報のチラシまで印刷したものの、中止に追い込まれました。

後期はかながわコミュニティカレッジ連携講座として実施。横浜市周辺市域にも募集を積極化しました。結果16名が受講したものの、実習先の体験塾の中止が相次ぎ、集合研修の最終日も中止となり、完全な研修とは程遠いものになってしまいました。

藤沢地区では、今年度は説明会・見学会に9名の応募があり、そのうち8名の方が集合研修に参加。現場実習を経て研修を終了し、今まで最多の7名の方が入会しました。

藤沢地区の養成研修は好調

2019年度,2020年度連続して、この研修会経由で7名の入会がありました。

横浜地区研修会の応募者と研修会からの入会者がやや減少傾向(下のグラフ・表)

◇ 減少傾向の原因は？ 複合要因あり！ ◇

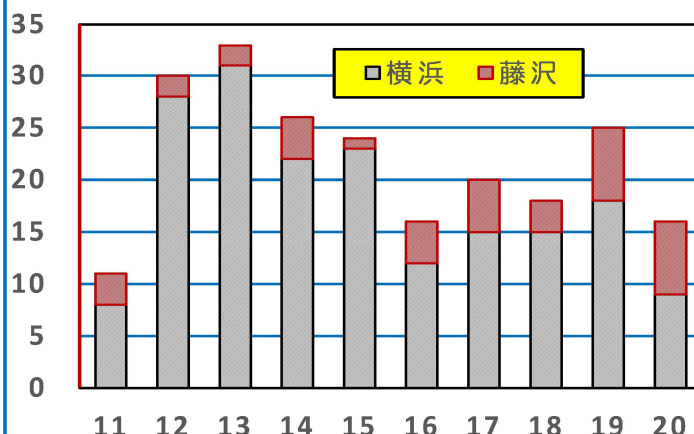
- ① 定年延長が進み、ボランティア活動に従事する人口が減少。
- ② 貧困化と将来不安＝定年後も生活のために働く必要がある人が増加。
- ③ 第2次産業が縮小し、第3次、第4次産業が拡大。モノづくり系の仕事体験者が減少。
- ④ ボランティア活動の種類が増加し、相対的に科学体験活動への関心が薄くなった。

横浜地区のみ

研修応募者～受講完了者～入会者推移

年度	応募	開始	受講終了	入会
2014	35	27	26	22
2015	31	27	26	21
2016	23	19	16	12
2017	40	19	22	14
2018	40	18	18	15
2019	32	26	26	18
2020	29	16	16	9

地区別研修経由入会者推移



◎工具の使い方・教え方研修は2020年度から会員主対象の研修として展開しています◎

当期(2020年度)は幸い大幅な黒字となりました。事業活動自体は劇的に縮小し事業収入は300万円も減少したものの、支出も大幅に縮小し、更にコロナによる減収を補填する「持続化給付金」を受給できたり、東京応化科学技術振興財団からの助成金も前年並みに頂けたためです。

★事業収入は大幅に減少

要因

- ① 台風及びコロナで、体験塾は128回も中止になりました。
- ② 出前塾・学校支援も減少
- ③ 1回当たりの参加者も減少

★支出も大幅に減少

要因=活動が縮小したため、材料費やスタッフ交通費などの支出も大きく減少。管理費も縮小。

★持続化給付金受給。

200万円の給付金受給の結果収支差額は過去最大の大幅な黒字となりました。

2020年度 活動計算書概要(前年度と対比)

収入	単位=千円	2019年度	前年比	2020年度	構成比
事業収入		3,869	▲3150	719	13%
会費・入会金収入		1,572	▲15	1,557	27%
寄付金収入		1,108	▲174	934	16%
助成金等収入		500	1,950	2,450	43%
受取利息・雑収入		7	42	49	1%
当期収入計		7,056	▲1347	5,709	100%
支出	単位=千円	2019年度	前年比	2020年度	構成比
(事業費 合計)		4,879	▲3046	1,833	64.3%
① 科学塾等		3,890	▲2658	1,232	43.2%
② 普及/研修等		989	▲388	601	21.1%
管理費		1,478	▲460	1,018	35.7%
当期支出計		6,357	▲3506	2,851	100%
当期 収支差額		699	2,159	2,858	

2015～2020 連続収支計算書(活動計算書要約) + 2021 予算 (単位千円)

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020 決算	2021 予算
事業以外の収入		3,543	3,301	3,422	2,725	3,187	4,990	3,175
事業収入		5,007	4,813	4,457	4,438	3,869	719	2,105
当期収入合計		8,550	8,114	7,879	7,163	7,056	5,709	4,880
事業費		6,101	5,620	5,316	5,637	4,879	1,833	4154
管理費		1,166	1,211	1,109	1,612	1,478	1,018	1,998
当期支出計		7,267	6,832	6,426	7,249	6,357	2,851	6,152
当期収支差額		1,283	1,282	1,453	▲86	699	2,858	▲872

本部機能の維持に限らず、将来の事業収入減や出費増に備え、更に自前の会場確保の必要性などを踏まえると、事業収入以外の拡大、特に寄附の拡大がどうしても必要です！ 会員自身の寄附もちろん増やす必要がありますが、特に外部からの寄附拡大が課題です。

右の表に見るように、現在は会員自身が個人寄附の約73%を支えている状態です。このような会員自身の寄附への依存が大きすぎる状態を改善するため、もっと外部からの支援(寄附金や賛助会員の会費等)が必要です。

日本の社会環境を考えると、なかなか困難ではありますが、認定NPO法人の特典を広く活用して、少しでも多くの個人や、更には団体・企業からの寄附を集める努力が欠かせません。

2020年度 寄附の主体別内訳

寄附主体 種別	寄附人数	金額(千円)
寄附者(団体)	0人	0
寄附者(外部個人)	41人	254
正会員自身の寄附	105人	622
準会員自身の寄附	11	58
個人寄附合計	157人	934
内会員自身の合計	116人	680
寄附金総合計	157人	934

2020年度(昨年4月~今年3月)に おもしろ科学たんけん
工房を資金面で 支えてくださった方々の人数とお名前です。

有難うございました

これからもご支援をよろしく
お願い申し上げます。

(各区分内で五十音順:敬称略) () は前年度(2019年度)人数

(1) 寄附を頂いた方々 39名(57名) 内法人 1名 金額合計=249,000円

石井一至、石井康博、石野皓三、大西俊作、小沢和典、加藤律子、神谷幹雄、熊谷 勲、栗田昌子、栗林宏吉、郷 靖彦、小西正典、小林まゆみ、齋藤雅文 佐伯るり子、坂出国彦、櫻井昭信、佐野陽子、柴田和美、鈴木和江、高橋佐紀子、田中 梓、田中良雄、知野善明、塚越良也、辻 節子、津島左年、津島晶子、中田友美子、西山 勝、野沢芳恵、ピーエムユウ(株) 松藤朋治、八木克人、山口 豊、山崎裕美子、山下亜希子、山本喜美江、渡辺三之

(2) 賛助会員 年会費納入者 28名(34名) 42口(7人) 金額合計 210,000円

<内、寄付も頂いた方 1名 金額5,000円>

安立修一、岩尾紘一、岩瀬宏一、尾崎直人、神作洋子、木下和久、桑原正子、郷 勝哉、小林勝美、小林 涉、柴田 哲、菅谷一郎、高橋梯二、田中克尚、田中敏彦、田中正男、富田晴雄、比嘉 高、平綿克代、広瀬信子、宮治千枝子、村田和代、安田舜二、山田 繁、山中俊作、山本儀子、吉田敬一郎、渡辺恭平

(3) 正会員 年会費納入者 209名(204名) 金額合計 1,254,000円

<内寄附も頂いた方 104名(106名) 金額合計 622,000円>

相川正光、相坂輝夫、青木英二、秋山 徹、浅井三佐男、浅野 清、朝日直子、足立典彦、阿部貞子、阿部 弘、天野昭子、綾部広一、有馬正人、石井正司、石橋輝夫、石橋義夫、和泉静恵、伊藤里絵、稲垣昭典、井上治美、井上満夫、伊原 誠、今井敬子、今井裕子、入野千絵、岩佐 茂、岩田淳一、上野由仁子、魚住栄市、後 和子、卯野芳伸、梅田哲夫、永島雅美、枝原幸美、遠藤悦郎、大内健伍、大熊輝男、大竹盟子、大塚 清、大塚丈二、大村 高、小椋博美、尾崎正明、小原 勉、河西一夫、笠井真理子、鹿島孝之、加藤明彦、加藤俊一、金沢 賢、金子英治、金子幸子、神谷邦子、唐澤英男、河上郁夫、川上奈緒子、河津奈緒、河野和子、菅野雪子、神林節子、北村富雄、久保 樹、久保田尚子、倉知由美子、栗田 彰、小菅 保、古高 實、小林珠美、小林 伸、古村哲夫、古明地和郎、今野邦男、齋藤光紀、斉藤義彦、酒井和美、坂本欣也、佐倉 恭子、佐々木希美江、佐々木勇二、笹野 拓、佐藤久美子、佐藤孝一、佐藤孝枝、佐藤伊一、佐野修平、澤田雅行、澤山 徹、山東彰子、篠原みゆき、柴田憲男、柴田善弘、島田祥生、下村正治、庄司稔明、杉原京子、杉山逸子、杉山茂久、鈴木明彦、鈴木恵子、高梨賢一、高橋 裕、滝澤秀行、竹澤 由香、田島紘一郎、田島秀夫、田中克己、田中 俊一、田中政治、玉那覇勇、千葉信吾、塚脇 敬、辻 董、辻川敬子、津島治子、辻村勝彦、津田俊治、土田史生、土屋 至、土屋昌信、坪野英二、寺嶋久恵、遠山勝美、徳重 芳、友田健一、中川 治、中田 誠、中村俊二、中村隆史、中村信之、中山登史男、西村泰一、貫井恵美子、沼田くに子、野田 博、長谷川秋治、長谷川晴次、波多野正人、浜津義男、林 和幸、林富士雄、原登志子、原田 努、平井裕美子、平出一郎、平田昌之、平野和希、広瀬 進、廣瀬隆夫、福井澄子、福島有美子、福田芳正、藤井 誠、藤浦英士、藤門美奈子、藤野和子、藤巻和美、布施 光一、星安克己、榎 英恵、増田十茂子、松浦かをり、松島賢一、松田勇三、松長宗三、松本 豊、的野久子、水野 清、三田重雄、密島英二、三ツ田功子、三橋泰志、南 貴子、宮内玲子、宮川桃子、宮坂幸子、宮下盛汪、宮地俊作、宮丸哲夫、餅田 浩、森 文雄、森島章伍、森田穂三郎、門馬敦仁、八木一夫、安江 昇、安田悦子、安田光一、矢野通弘、山口 晃、山崎和喜、山崎博文、山田 順子、山田隆康、山本明利、山本君代、山本国昭、山本 定、湯本晃一、湯本 浩子、養田恵津子、横崎克司、吉田イチ子、吉野昌有、若林秀次、和田容直、渡邊智子、渡邊裕子、渡邊正人、渡邊正信 (以上209名)

(4) 準会員・休眠会員 登録料、納入者 40名(38名) 金額合計 98,000円

<内寄附も頂いた方 10名(7名) 金額合計 58,000円>

阿部浩三、天野久子、安藤良佑、池田守宏、池端真彦、大喜多慶一、大橋利栄、大畑 智、小田保範、加藤奈奈美、狩俣松枝、河原宏子、菊地利江、熊谷厚博、熊谷まどか、黒澤 勝、小林比呂美、小林弘一、佐藤美和子、芝地康博、志村泰充、白井美智子、多賀道彰、高田哲生、高橋正明、鶴崎 健、中村加津雄、七宮正行、西 望、西田忠洋、入野 修、野沢邦雄、濱 博嗣、廣井徹磨、堀江清美、村上春美、八木三津子、矢田部佳子、山崎福市、蟬山文子